

伊豆の国市立長岡南小学校 学校だより



あやめだより

令和4年12月号

校長 戸田 太郎

朝、交通安全指導で横断歩道に立っていると、ほとんどの子供が進んであいさつをしてくれます。さらに、止まってくれた車の運転手さんに、お礼を述べたりお辞儀をしたりする子供が増えるなど、あいさつだけではない心の成長が感じられます。

以前朝礼の時に、「南小のみなさんにあいさつをすると、気持ちのよいあいさつがかえってきます。さらに、自分からあいさつができる人は、みんなから愛され、それが自分の幸せにつながっていくと思います。みなさんに自分からあいさつができる人になってほしいので、私からあいさつをすることをぐっところえます。その代わりに、気持ちのよいあいさつをしてくれた人に、それ以上に気持ちのよいあいさつをするよう心がけます。」と話したことがあります。今では、ほとんどの子供が素直に実践し、浸透していますので、毎日心を込めてあいさつを返しています。

子供からだけではなく、近くを通行する保護者や地域の方からもお辞儀をしていただいたり、「おはようございます」「おつかれさまです」と声をかけていただいたりすることもあります。また、学校には多くの木が植えられているため、大量の落ち葉を掃いていると、側を通る方から同様の声を掛けていただくことがあります。その様な大人の姿を目にすることによっても、子供たちは、心を成長させていくのだと感じています。

学校だけの支援や指導には、限界があります。これからも地域に支えていただける学校でありたいと思いますので、今後もよろしく願いいたします。

